

事業番号

0199

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	渡日前入学許可の推進等	担当部局庁	高等教育局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	開始：平成22年度・終了：平成23年度	担当課室	学生・留学生課留学生交流室	学生・留学生課長 松尾 泰樹				
会計区分	一般会計	施策名	XIV-1 国際交流の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	「留学生30万人計画」骨子(平成20年7月29日) 「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「留学生30万人計画」を推進する重要な施策の一つとして、留学希望者が来日することなく、渡日前に日本の大学等への留学を決定できる渡日前入学許可の推進が掲げられている。 この渡日前入学許可を推進する、効果的な試験実施手法について、(ア)海外でのコンピュータ試験システムの構築、(イ)日本留学希望者に適合したコンピュータ試験問題の作成、に関する調査研究を行い、海外各国・地域における渡日前入学許可の推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①日本と試験実施都市との時差等を考慮した複数試験システムの作成②コンピュータによる試験の実施③コンピュータ試験実施のためのシステムの開発・構築④コンピュータ試験の海外での実施⑤日本語能力試験、TOEFLの活用等について、国・地域や各海外拠点に応じた効果的な試験内容や実施に当たっての課題等について、調査研究を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位：百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	—	46	20	—	—	
		補正予算	—	0	0	—		
		繰越し等	—	0	0	—		
		計	—	46	20	—	—	
	執行額		—	10	12			
	執行率(%)		—	21.7%	60.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	海外各国・地域における渡日前入学許可の推進 (調査研究事業であるため定量的な成果目標を示すことはできない。)		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	CBT試行試験受験者数		活動実績 (当初見込み)	人	— —	219 (200人)	294 (200人)	— (—)
単位当たりコスト	12(百万円/式)		算出根拠	外国人留学生受入推進事業委託費一式				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		本事業は、「留学生30万人計画」を推進するための重要な施策である「渡日前入学許可」を効果的に推進するため、その試験実施手法に関する調査・研究等を行うものであり、国が実施すべき優先度の高い事業である。また、平成22年度の実施実績を踏まえ、請負内容の精査を行ったこと等のため、予算額より低い金額で契約を行うことができ、不用額が発生している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		本事業は、一般競争入札により請負者を決定しており、支出先選定の競争性は確保されている。また、平成22年度の実施実績等を踏まえ、平成23年度の請負内容を定めており、費用・使途については、事業目的に則し、真に必要なものに限定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		効率的な試験実施手法の検討については、高度な専門的知見を必要とすることから、当該知見を有する業者への委託は実効性の高い手段である。また、業務終了後の報告書では、コンピュータを活用した試験配信の実施可能性について、見込みに見合った結果報告が得られている。引き続き、「渡日前入学許可」を効率的に推進するための試験実施手法等については、コンピュータを使用した試験配信の活用等について検討を行うこととしている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	・平成22年度に引き続き、「渡日前入学許可」を効果的に推進するための試験実施手法として、日本留学試験のコンピュータを利用した試験配信システムの構築等に向けた調査・研究を実施した。 ・執行面では、実績報告書等に基づき、経費の使途等を把握し、委託費の使用状況や事業目的との統合性について確認を行っている。 ・なお、平成23年度をもって、本事業は廃止している。			
予算監視・効率化チームの所見				
		本事業では、留学希望者が来日することなく、渡日前に日本の大学等への留学を決定できる渡日前入学許可を推進するため、海外でのコンピュータによる試験の実施等を行ってきており、所期の目的を達成したことから、平成23年度をもって廃止している。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	0178	

文部科学省
12百万円

〔留学希望者が渡日前に自国にしながら日本の大学等への留学を決定できる入試体制を推進するための取り組みを支援。〕



【一般競争入札・請負】

A. プロメトリック(株)
12百万円

〔世界の様々な地域での渡日前の入学許可を進めるため、コンピュータによる試験配信システムの構築等についての調査研究を行う。〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

費目・使途 「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載	A.プロメトリック(株)			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	役務	コンピュータによる試験配信システムの構築、調査研究	12			
	計		12	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 渡日前入学許可に係るシステム作成・調査研究

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	プロメトリック(株)	渡日前入学許可に係るシステム作成・調査研究を実施	12	1	94.40%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					